

トピックス

目次

表紙裏	SBIグループの概要
1	連結財務ハイライト
2	SBIグループの経営理念／ SBIグループのビジョン Strategic Business Innovator
3	3つのコアビジネスから5つのコアビジネスへ
4	株主の皆様へ
6	北尾CEOインタビュー
14	アセットマネジメント事業
16	フローカレッジ&インベストメントバンキング事業
18	ファイナンシャル・サービス事業
20	SBIグループ
	20 SBIグループの社会貢献の3つの柱
	20 人材育成への取り組み
	21 CSRへの取り組み
	22 コーポレートガバナンス
24	財務セクション
	24 財務報告
	30 連結財務諸表
	36 連結財務諸表注記
	62 独立監査人の報告書
63	主要グループ会社／沿革
64	役員
65	会社概要／株式情報

見直しに関する注記事項

このアナニュアルレポートに記載されている、SBIホールディングス株式会社および連結子会社の現在の計画、見直し、戦略などのうち、歴史的事実のないものは、将来の業績に関する見直しであり、これらは各資料発表時点においてSBIホールディングスの経営方針により、入手可能な情報およびSBIホールディングスが合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。従って、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている見直しとは、異なる結果となり得ることをご承知おください。

2005

- 5月 ●シンガポール投資会社(テマセクグループ)と中国投資ファンドの共同設立に関する基本合意を発表
- 7月 ●ファンド運営事業等を分割し、連結子会社であるSBIベンチャーズ(株)(同月「ソフトバンク・インベストメント(株)」に商号変更)に承継するとともに、商号を「SBIホールディングス(株)」に変更
 - ソフトバンク・インベストメント(株)(旧商号SBIベンチャーズ(株))とパイオビジョンキャピタル(株)およびソフトバンク・コンテンツ・パートナーズ(株)はソフトバンク・インベストメント(株)を存続会社として合併
- 8月 ●SBIパートナーズ(株)の株式を追加取得し子会社化
- 9月 ●総合不動産企業である(株)ゼファーの株式を取得し、持分法適用関連会社化
 - SBIホールディングス北京駐在員事務所を設立
- 10月 ●財団法人「SBI子ども希望財団」を設立
 - 住友信託銀行グループとの新ネット銀行の共同設立と資本業務提携に関する基本合意を発表

2006

- 3月 ●連結子会社であるSBIパートナーズ(株)およびファイナンス・オール(株)はSBIホールディングス(株)を存続会社として合併
 - 株式交換により、SBI証券(株)を完全子会社化
 - あいおい損害保険(株)との新ネット損害保険会社の設立についての共同検討・準備開始に関する基本合意を発表
- 4月 ●新ネット銀行設立に向けて、設立に関する調査・情報提供を行う「(株)SBI住信ネットバンク設立準備調査会社」を創設
 - 主に金融機関向けのソフトウェア受託開発会社である(株)ソルクシーズとの資本・業務提携契約の締結を発表、同社の株式を取得し持分法適用関連会社化
- 5月 ●ダイレクト・マーケティングにおける広範な経験とノウハウを有する(株)ネクサスとの資本・業務提携契約の締結を発表、同社の株式を取得し持分法適用関連会社化
 - SBIフューチャーズ(株)が大阪証券取引所ヘラクレス市場に上場
- 6月 ●保険業免許取得を目的とした準備会社である「SBI損保設立準備(株)」を設立
- 7月 ●アクサ ジャパン ホールディング(株)と合併による新ネット生命保険会社の設立に関する検討開始を発表
- 8月 ●インド最大の商業銀行インドステイト銀行グループとのインド投資ファンド共同設立に関する基本合意を発表
 - モーニングスター(株)の子会社ゴメス・コンサルティング(株)が大阪証券取引所ヘラクレス市場に上場
 - ソフトバンク(株)の完全子会社であるソフトバンク・イーエム(株)(現 ソフトバンクテレコム販売(株))が保有していた当社株式を売却したことに伴い、当社とソフトバンク(株)の資本関係は消滅。また、同月にソフトバンク(株)と金融ポータル事業の企画、運営等を行う合併会社設立について協議開始を発表